



デュアルセンサーブレーキサポート

2種類のセンサーで人やクルマを検知

衝突被害
軽減ブレーキ
前方①

こんな対象を検知します！

単眼カメラ+レーザーレーダーの「デュアルセンサー」で、前方のクルマや歩行者を検知します。



乗用車



トラック



歩行者

こんなふうに作動します！

システムが衝突のおそれがあると判断すると、音やメーターなどの表示によってドライバーに警告。ブレーキペダルを踏むと、ブレーキ力をアシスト。衝突の可能性が高まると、自動で強いブレーキをかけ、衝突の回避または衝突時の被害軽減を図ります。

- *自動(衝突被害軽減)ブレーキ機能作動時は強いブレーキがかかりますので、走行中に全ての乗員が適切にシートベルトを着用していることをご確認ください。
- *自動(衝突被害軽減)ブレーキ機能による車両停車後は、クリープ現象により前進しますので、必ずブレーキペダルを踏んでください。



●対象がクルマのとき

作動したときの速度が約50km/h未満であれば衝突を回避できる場合があります！



●対象が歩行者のとき

作動したときの速度が約30km/h未満であれば衝突を回避できる場合があります！



*自車速度約5km/h～約100km/h(対象が歩行者の場合は約5km/h～約60km/h)で走行中、前方の車両や歩行者との衝突が避けられないとシステムが判断した場合。作動したときの速度が約50km/h未満(歩行者の場合は約30km/h未満)であれば、衝突を回避できる場合があります。周囲の環境や対象物の動きなどによっては、警報のみでブレーキが作動しない場合があります。また、警報と同時に自動(衝突被害軽減)ブレーキが作動する場合があります。

